(16) 千葉港 ~活気あふれる海へのアクセス~

基本方針

・ 水と緑の魅力的な海の玄関口

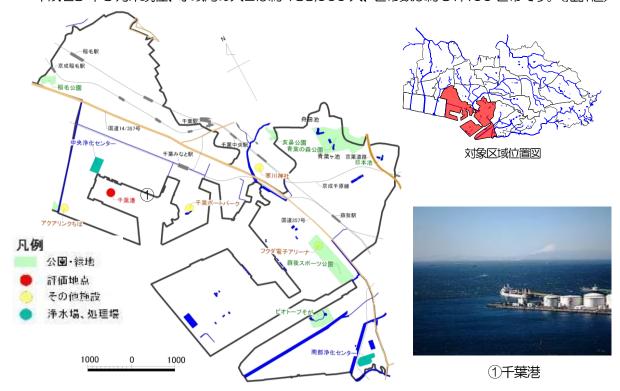
●水域の概要と水環境の現状

1) 水域の概要

| 区名 | 町丁名 |
|-----|--|
| 中央区 | 青葉町*、市場町*、稲荷町 1~3 丁目、亥鼻 2~3 丁目*、今井 1~3 丁目、春日 1~2 丁目、葛城 1~3 丁目、川崎町、寒川町 1~3 丁目*、塩田町*、汐見丘町*、白旗 1~3 丁目*、新宿 1 丁目、新千葉 1~3 丁目*、新田町*、新町*、神明町*、末広2~5 丁目*、蘇我 1 丁目、蘇我町2 丁目、千葉寺町、千葉港、中央港 1~2 丁目、出洲港、問屋町、新浜町、登戸 1~5 丁目、浜野町*、星久喜町*、松波2 丁目*、松ヶ丘町*、南町 1~3 丁目、宮崎町、宮崎 1~2 丁目、村田町*、矢作町*、若草 1 丁目 |
| 稲毛区 | 穴川町、穴川1~2丁目*、穴川4丁目、稲丘町、稲毛1丁目、稲毛3丁目*、稲毛台町、稲毛東1~5丁目*、黒砂1~4丁目、黒砂台1~3丁目、小仲台1~7丁目*、園生町*、轟町1~3丁目*、緑町1~2丁目、弥生町 |
| 美浜区 | 幸町 1~2 丁目、新港 |

(備考)町丁名の後ろの*は、2つ以上の水域にまたがっている町丁を示します。

- ・ 平成28年4月に供用した千葉みなと旅客船さん橋からは、年間通じて港内遊覧船や工場夜景クルーズなどが運航し、賑わいを創出しています。
- ・鉄鋼・電力・食品関係等の大規模工場が数多く立地しているほか、千葉みなと駅から中央港のポートパークにかけては、緑地(公園)や人工海浜が整備されています。
- ・寒川神社では、近年途絶えていた「御浜下り」(神輿を担ぎ海へ入る儀式)が復活し、毎年8月19~21日には「夕星(ゆうづつ)の祭典」が開催されます。
- ・ 平成 28 年 3 月末現在、水域内の人口は約 133,000 人、世帯数は約 57,400 世帯です。(推計値)



2) 水環境の現状

■水生生物の生息状況

【魚類】

平成16 年度は5種、平成20 年度は25 種が確認されましたが、重要種*は確認されませんでした。 魚類は、イワシ類やスズキなどの遊泳魚を中心に確認され、ハゼ類等の底生魚の確認種は少ない状況です。 千葉港内の底質はヘドロ質で硫化水素臭を呈しており、底生魚にとっての生息環境は、厳しい状態にあると言えます。

【底生生物】

平成16 年度2種、平成20年度は確認種がありませんでした。重要種は確認されていません。 いずれの年においても、底質はヘドロ質で、底生生物の生息環境は厳しい状態にあると言えます。

◇底生生物による生物学的水質判定

底生生物による生物学的水質判定を行うと、平成16 年度の春季は2種が確認され、強汚濁 海底と判定されましたが、その他の調査では、底生生物は確認されず、無生物海底でした。

| 海域 (地点) | 年度 | 調査時期 | 弱過栄養海底 | 強過栄養海底 | 弱汚濁海底 | 強汚濁海底 | 無生物海底 |
|------------|-----|----------|--------|--------|-------|--------------|--|
| 千葉港 | H16 | 香 | | | | \leftarrow | |
| | H20 | 春 | | | | | $ \longleftrightarrow $ |
| | | 糠 | | | | | $\displaystyle \qquad \qquad$ |

生物学的水質判定結果模式図(千葉港)

千葉港で確認された水生生物

| 生物 | 守りたい・保全したい生き物 | H16現況 | H20現況 |
|------------|----------------|--------------|-----------------|
| 底生生物 | タテジマフジツボ、エビジャコ | イトゴカイ科 | なし |
| | | シノブハネエラスピオ | 6 |
| | | タマキビガイ | タマキビガイ |
| | | コウロエンカワヒバリガイ | コウロエンカワヒバリガイ |
| | | マガキ | マガキ |
| │ │付着生物 | | ウスカラシオツガイ | ウスカラシオツガイ |
| 刊有土物 | | デンガクゴカイ | デンガクゴカイ |
| | | シロスジフジツボ | アメリカフジツボ |
| | | タテジマフジツボ | <u>タテジマフジツボ</u> |
| | | など全15種 | など全27種 |

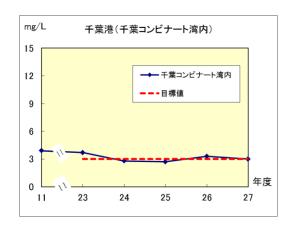
太字は指標生物を示します。

※重要種:環境省や千葉県、千葉市のレッドリストに記載された、千葉市の生物保護上重要な野生生物のことをいいます。

■水質等の状況

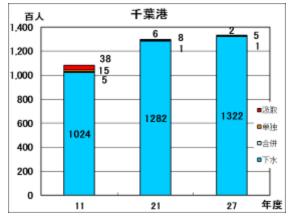
【海域の水質】

新港コンビナート湾内のCOD(化学的酸素要求量)年平均値は、計画目標値の3mg/L前後で推移しています。今後も、水質改善に向けた取り組みが必要です。



【生活排水処理形態別人口】

平成 27 年度における処理形態別の水域人口の割合は、下水道処理人口が約 99%となっており、大部分が下水道で処理されています。



~グラフ中の凡例の説明~

汲取(汲み取り)

単独(単独処理浄化槽)

合併(合併処理浄化槽)

下水(公共下水道)

●望ましい水環境の姿

1) 守りたい・保全したい生き物

| 魚類 | クロダイ、シロギス、イシガレイ(内湾に生息している魚類) |
|------|-------------------------------|
| 底生生物 | タテジマフジツボ、エビジャコ(内湾に生息している底生生物) |

2)物理環境

| 水際(なぎさ) | ・港湾機能の維持を図りつつも、親水性や修景性を考慮した水際を創造する。・臨海地域の事業活動への影響や安全確保に十分配慮し、身近に楽しむことのできる海洋性レクリエーション空間の創造、パブリックアクセスの確保を図る。 |
|---------|---|
| 周辺地域 | 千葉市の海の玄関口にふさわしい風情のある港湾景観づくりを周辺地域も含めて形成する。 |

3)水質・流量

| COD | 3mg/L以下 |
|-------|------------|
| 溶存酸素量 | 5mg/L以上 |
| 全窒素 | 1.0mg/L 以下 |
| 全りん | 0.09mg/L以下 |
| 全亜鉛 | 0.02mg/L以下 |

●目標達成のための取組み

1) いろいろな水辺の生き物の保全

・ 千葉ポートパークの人工海浜を保全することにより、鳥類、魚類、底生生物等の多様な生物が生息可能な場を創出し、生態系の回復に努めます。

2) 親しみのもてる水辺の創出

・千葉港のシンボルパークとして整備され、人工海浜もある千葉ポートパークを市民の憩いの場として、 適切に維持管理します。

3) ゆたかな流れ(水量)の確保

- ・市民の森(松ヶ丘)において、市民との連携による維持管理を実施します。
- ・雨水排水の流出抑制及び地下水のかん養を図るために、雨水浸透ます等の設置を推進します。
- ・新港横戸町線の整備にあたり、緑化を推進します。

4) きれいな水(水質)の保全

- ・公共下水道の整備及び接続の指導を推進します。
- ・「東京湾総量削減計画」に基づき化学的酸素要求量、窒素含有量およびりん含有量に係る総量規制を 推進します。
- ・千葉港沿岸の大規模工場・事業場に排水規制の遵守を指導します。
- ・合流式下水道(汚水と雨水を 1 本の管で集めるシステムの下水道)の改善対策の一環として、浸水 対策を兼ね備えた貯留管を整備し、降雨時に未処理下水を一時的に貯めることで河川への放流水質や 放流量のピークを抑制します。
- ・船舶から発生するバラスト水、またはビルジの処理を推進(油濁防止事業)します。
- ・油等の流出事故による海洋汚染を防止するための資材(オイルフェンス等)を確保します。

●主な施策

| いろいろな水辺の生き物の保全 | 地域生態系の保全・再生 |
|----------------|--------------------------|
| 親しみのもてる水辺の創出 | 千葉港港湾環境の整備・管理(千葉ポートパーク) |
| | 市民の森の整備・市民協働による維持管理(松ヶ丘) |
| ゆたかな流れ(水量)の確保 | 下水道雨水貯留浸透事業 |
| | 道路緑化の推進(新港横戸町線) |
| | 生活排水対策の推進〔公共下水道への接続等〕 |
| きれいな水(水質)の保全 | 東京湾総量削減計画の推進 |
| | 工場・事業場排水等の適正処理の指導 |
| | 千葉港の浚渫・油濁対策事業 |

(17) いなげの浜~幕張の浜 ~豊かな水と開放的な水辺~

基本方針

• 緑あふれる憩いとレクリエーションの水辺

●水域の概要と水環境の現状

1) 水域の概要

| 区名 | 町丁名 |
|------|---|
| 花見川区 | 幕張町1丁目*、幕張町2丁目*、幕張町3丁目*、幕張町4丁目*、幕張町5丁目* |
| 美浜区 | 磯辺 1~8 丁目、稲毛海岸 1~4 丁目、打瀬 1~3 丁目、高洲 1~4 丁目、高浜 1~7 丁目、豊砂、中瀬 1~2 丁目、浜田 1~2 丁目、ひび野 1~2 丁目、幕張西 1~6 丁目、真砂 1~5 丁目、美浜、若葉 1~3 丁目 |

(備考)町丁名の後ろの*は、2つ以上の水域にまたがっている町丁を示します。

- ・いなげの浜、幕張の浜、検見川の浜と3つの人工海浜が造成されています。いなげの浜は海水浴場として利用されており、東京湾再生推進会議のアピールポイントとなっています。また、稲毛海浜公園は千葉県指定の東京湾アピールポイントになっています。
- ・ 幕張海浜公園では、毎年、8月の第1土曜日に「千葉市民花火大会」が開催されており、多くの市民で賑わいます。
- ・ 当該水域には、大型住宅団地や下水処理場等が立地しています。さらに、幕張臨海部は、幕張新都心に代表されるように開発が進められています。
- ・ 平成 28 年 3 月末現在、水域内の人口は約 131,000 人、世帯数は約 56,700 世帯です。(推計値)



①いなげの浜

②検見川の浜

2) 水環境の現状

■水生生物の生息状況

【魚類】

平成16 年度は31 種、平成20 年度は31 種が確認されました。このうち重要種*は、二ホンウナギが確認されました。確認種としては、イワシ類やスズキなどの遊泳魚の他にも、ホウボウやマゴチ、ハゼ類、カレイ類などの底生魚が確認され、魚類の生息環境は比較的良好であると言えます。

【底生生物】

平成16 年度は25種、平成20 年度は12 種確が認されましたが、重要種は確認されませんでした。確認種をみると、平成16 年度の調査では環形動物、軟体動物、節足動物、腔腸動物、細形動物、線形動物の6動物門が確認されましたが、平成20 年度には環形動物と線形動物の2動物門しか確認されず、確認種数が減少しています。

◇底生生物による生物学的水質判定

底生生物による生物学的水質判定を行うと、平成16 年度の秋季は弱汚濁海底の判定となりました。また、平成20 年度の春季も弱汚濁海底となり、秋季は強汚濁海底の判定となりました。

| 海域 (地点) | 年度 | 調査時期 | 弱過栄養海底 | 強過栄養海底 | 弱汚濁海底 | 強汚濁海底 | 無生物海底 |
|------------|-----|----------|--------|--------|-----------------------|----------|-------|
| いなげの浜 ~ | H16 | 季 | | | \longleftrightarrow | | |
| 幕張の浜 | H20 | 季季 | | | \leftarrow | † | |

生物学的水質判定結果模式図(いなげの浜~幕張の浜)

【その他】

検見川の浜では、市の鳥であるコアジサシの飛来が毎年確認されています。

幕張の浜地先で確認された水生生物

| 生物 | 守りたい・保全したい生き物 | H16現況 | H20現況 |
|-----------|---------------|----------------|----------------|
| | チロリ | シズクガイ | クシカギゴカイ |
| | ゴカイ | ヤマトスピオ | シノブハネエラスピオ |
| 底生生物 | アサリ | エラナシスピオ | イトエラスピオ |
| | ホトトギスガイ | など全25種 | など全12種 |
| | アラムシロガイ | <u>ホトトギスガイ</u> | <u>ホトトギスガイ</u> |
| 付着生物 | | ミドリイガイ | ムラサキイガイ |
| 19 宿生物 | | デンガクゴカイ | ヒゲブトゴカイ |
| | | など全18種 | など全32種 |

太字は指標生物を示します。

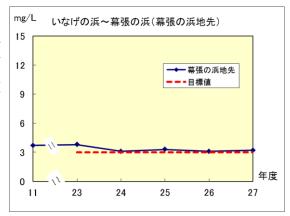
※重要種

環境省や千葉市のレッドリスト等に記載され、千葉市の保護上重要な野生生物のことをいいます。

■水質等の状況

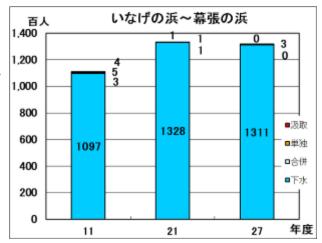
【海域の水質】

幕張の浜地先のCOD(化学的酸素要求量)年平均値は、ほぼ横ばいの傾向にあります。計画目標値の3mg/Lをやや上回っており、水質改善に向けた取り組みが必要です。



【生活排水処理形態別人口】

平成 27 年度における処理形態別の水域人口の割合は、下水道処理人口が約99%となっており、大部分が下水道で処理されています。



~グラフ中の凡例の説明~

汲取(汲み取り)

単独(単独処理浄化槽)

合併(合併処理浄化槽)

下水(公共下水道)

●望ましい水環境の姿

1) 守りたい・保全したい生き物

| 魚類 | クサフグ、コトヒキ、ボラ、シマイサキ、マハゼ(海浜に生息している魚類) |
|------|--|
| 底生生物 | チロリ、ゴカイ、アサリ、ホトトギスガイ、アラムシロガイ (海浜に生息している底生生物) |

2)物理環境

| , 100 — 1100 | |
|--------------|---|
| 水際(なぎさ) | ・人々が集い、憩い、水辺とられあうことのできる快適でにぎわいのある水際を創造する。・東京湾を代表する海水浴、潮干狩り等の海辺レクリエーション空間として、安全性、美観、利便性、自然環境に配慮した海浜整備を図る。 |
| 周辺地域 | 人工海浜や河川下流域に沿って連続した緑地の整備を維持し、景観の優れた 緑豊かなウォーターフロントの形成を図る。 |

3)水質・流量

| COD | 3mg/L以下 |
|----------|-----------------|
| 溶存酸素量 | 5mg/L以上 |
| 糞便性大腸菌群数 | 100MPN/100 mL以下 |
| 全窒素 | 0.6mg/L 以下 |
| 全りん | 0.05mg/L以下 |
| 全亜鉛 | 0.02mg/L以下 |

●目標達成のための取組み

1) いろいろな水辺の生き物の保全

・ 検見川の浜ではコアジサシの飛来が確認されていることから、ふれあい自然観察会等を積極的に開催 し、人と生き物とのふれあい意識の醸成・啓発に努めます。

2) 親しみのもてる水辺の創出

- ・検見川の浜では遊歩道等の整備を実施し、市民が親しみのもてる海辺の創出に努めます。
- ・人工海浜は浸食や流動化等が起こりやすいことから、継続した調査を実施し、環境の保全に努めます。

3) ゆたかな流れ(水量)の確保

・稲毛海浜公園等の公園・緑地の維持管理や整備に努め、豊かな地下水を育むかん養域の確保を図ります。

4) きれいな水(水質)の保全

- ・公共下水道を整備し、接続の指導をします。
- ・「東京湾総量削減計画」に基づき化学的酸素要求量、窒素含有量およびりん含有量に係る総量規制を 推進します。
- ・稲毛海浜公園のヨットハーバー周辺の浚渫を実施します。

●主な施策

| いろいろな水辺の生き物の保全 | 生き物ふれあい意識の醸成・啓発〔ふれあい自然観察会等〕 |
|----------------|-----------------------------|
| いらいらんがたの子で初の株主 | (検見川の浜、いなげの浜) |
| | 千葉港海岸環境の整備・管理(検見川の浜) |
| 親しみのもてる水辺の創出 | 人工海浜(いなげの浜)の養浜 |
| | 人工海浜(いなげの浜)の地形調査 |
| ゆたかな流れ(水量)の確保 | 都市公園、緑地等の維持管理(稲毛海浜公園など) |
| | 生活排水対策の推進〔公共下水道への接続等〕 |
| きれいな水(水質)の保全 | 東京湾総量削減計画の推進 |
| | 稲毛海浜公園ヨットハーバー周辺の浚渫 |

印旛沼の浄化に向けた重点的な取り組み

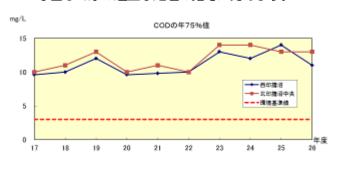
印旛沼は県民の貴重な飲料水、農業用水、工業用水など水がめとして利用されているだけでなく、内水面漁業及び憩いの場として、かけがえのない財産となっています。しかし、昭和30年代から始まった都市化により水質は悪化して以降、年々水質は改善してきていますが、環境基準値は未達成の状況が続いております。印旛沼に流入する河川の中で、千葉市を流れる鹿島川からの流量の割合が大きいため、鹿島川流域における汚濁負荷量の軽減が重要です。ここでは、印旛沼の浄化に向けた取り組みを紹介します。

鹿島川流域における流出水対策

- ◆農地対策 ・・・土壌診断等に基づき、適正施肥による過剰施肥の防止の推進等、施肥法 の改善等の普及を行います。
- ◆市街地対策 ・・・雨水浸透施設の設置、透水性舗装の整備、路面・側溝清掃によるかん 養の推進をおこないます。

生活•産業排水対策

- ◆高度処理型合併浄化槽の推進 ・・・市の補助制度を活用し、単独浄化槽から窒素やリンが除去できる高度処理型合併浄化槽への転換を推進します。
- ◆畜産業対策 ・・・家畜ふん尿の適正な処理の指導に努めます。



(千葉県湖沼水質保全計画 (第6期)を参考に作成)

※75%値: 年間の日間平均値の全データをその値の小さいものから順に並べ 0.75×n 番目 (n は日間平均値の データ数) のデータ値をもって 75%値とします。

※かん養

雨水が土壌に浸透し、地下水が補給されることをいいます。